

評価に係る各種指針

(令和4年度短期大学認証評価用)

本資料について

この資料は、評価に際し、評価者が一定の判断を行うために作成した指針をまとめたもので、基礎要件に係る評価の指針（●印で表記）と基礎要件以外の評価の指針（○印で表記）とで構成されています。いずれも、毎年の評価の実績等を踏まえて追加や見直しを行うことがあり、改定した指針は改定した翌年度から適用します。

※これらの指針において「短期大学士課程」とする場合、専門職短期大学及び専門職学科におけるものを含みます。専門職短期大学及び専門職学科のみにかかわるものなど、限定的に用いる場合はその旨を明示しています。

【基礎要件に関する指針】(令和2年1月改定) ※以下では●印

- ◆ 「基礎要件に係る評価の指針」は、評価者が法令要件やその他の基礎的な要件の充足状況を判断し、評価する際の具体的な指針を記したものです。
- ◆ 本指針は、問題事例があった場合に一定の判断が行えるように作成したものです。ただし、評価は短期大学それぞれの状況に応じて行うものであるため、特別の事情があるなど合理的理由を示せる場合は、数値目安等を弾力的に運用することも可能です。
- ◆ 本指針は「基礎要件確認シート」と一体的に運用します。その際評価者は、同シートの根拠となっている「短期大学基礎データ」等を必ず参照し評価にあたるようにしてください。
- ◆ 「基礎要件確認シート」において基礎要件の充足状況に問題が見られるが、実地調査時まで改善が確認できた場合は、その事実をもとに評価するものとします。ただし、その場合は、原則として概評において「基礎要件確認シート」作成基準日（短期大学認証評価実施前年度5月1日）において基礎要件を満たしていなかった事実を付記してください。
- ◆ 本指針に基礎要件に相当する事項を新たに追加する場合は、原則として一体的に運用する「基礎要件確認シート」もあわせて改訂するものとします。

【基礎要件以外の評価の指針】(令和3年2月決定) ※以下では○印

- ◆ 本指針は、「基礎要件に係る評価の指針」として定められたもの以外について、毎年度の判断事例をもとに短期大学評価委員会が文章化したもので、短期大学基準を解釈・適用する際に、一つの合意点として参照されるものです。これを用いるにあたっては、各短期大学の状況を十分に踏まえ、総合的に評価するものとします。

通則

- ・ 同じ事項について、複数の学科・専攻科において問題があるが、改善課題、是正勧告に相当するものに分かれている場合には、これらをまとめて是正勧告として指摘するものとする。
 - ※ 想定されるケース
 - ・ 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針又は学生の受け入れ方針にかかわる問題
 - ・ 短期学士課程における入学定員充足率又は収容定員充足率の問題（入学定員充足率の問題と収容定員充足率の問題が併存している場合に、これを一つの提言にまとめることも含む。）

基準1 理念・目的

● 短期大学の理念・目的の公表

- ・ 短期大学の理念・目的を刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても公表していない場合は、是正勧告として指摘する。

● 学科・専攻科における教育研究上の目的の学則等への規定及び公表

- ・ 教育研究上の目的を設定していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 教育研究上の目的を設定しているが、これを学則等に規定していない場合は、改善課題として指摘する。
- ・ 教育研究上の目的を刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても公表していない場合は、是正勧告として指摘する。

基準2 内部質保証

● 設置計画履行状況等調査への対応（5カ年）

- ・ 文部科学省による設置計画履行状況等調査の結果を踏まえた改善活動の状況から、内部質保証システムの機能に問題があると判断される場合は、その状況に応じて是正勧告又は改善課題として指摘する。

● 点検・評価結果の公表

- ・ 点検・評価結果をいずれの方法によっても公表していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 点検・評価結果を公表しているが、これをホームページ上で公表していない場合は、改善課題として指摘する。

● 教育情報の公表

- ・ 教育情報をいずれの方法によっても公表していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 教育情報を公表しているが、これをホームページ上で公表していない場合は、改善課題として指摘する。
- ・ 教育情報の公表内容に不備がある場合は、その状況に応じて是正勧告又は改善課題として指摘する。

● 財務関係書類の公表

- ・ 財務関係書類をいずれの方法によっても公表していない場合は、是正勧告として指

摘する。

- ・ 財務関係書類を公表しているが、これをホームページ上で公表していない場合は、改善課題として指摘する。
- ・ 財務関係書類の公表内容に不備がある場合は、その状況に応じて是正勧告又は改善課題として指摘する。

○ 体制の整備

- ・ 内部質保証の推進に責任を負う組織（以下「内部質保証推進組織」という。）をはじめとする内部質保証にかかる体制が整備されておらず、検討もされていない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 内部質保証推進組織は整備されているが、内部質保証にかかる他の組織との連携が不十分である場合は、改善課題として指摘する。

○ 権限・役割分担の明確化

- ・ 内部質保証推進組織をはじめとする内部質保証にかかる体制に関する権限・役割が規程、方針・手続等に定められていない、又は、定められているものの重度な不備が見られる場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 内部質保証推進組織をはじめとする内部質保証にかかる体制に関する権限・役割が規程、方針・手続等に定められているものの軽度の不備が見られる場合は、改善課題として指摘する。

※上記いずれの場合も、内部質保証に係る組織が実態として機能しているかを考慮して提言を付す。

○ 内部質保証推進組織による教学マネジメント

- ・ 各学科・専攻科の自己点検・評価結果に基づいて、内部質保証推進組織による改善のための検討が行われていない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 各学科・専攻科の自己点検・評価結果に基づいて、内部質保証推進組織による改善のための検討が行われているものの、改善へのフィードバックが不十分である場合は、改善課題として指摘する。
- ・ 内部質保証推進組織を中心とする以下の取組みが不十分な場合は、改善課題として指摘する。
 - 各学科・専攻科のPDCAサイクルに対する内部質保証推進組織のマネジメント
 - 各学科・専攻科の自己点検・評価結果を踏まえた改善支援

○ 文部科学省、認証評価機関からの指摘への対応^(※)

- ・ 文部科学省、認証評価機関からの指摘への対応が行われていない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 文部科学省、認証評価機関からの指摘への対応が行われているが不十分である場合は、改善課題として指摘する（軽微なものは除く）。
 - ※ ここでいう文部科学省からの「指摘」には、設置計画履行状況等調査の結果に付されたものを含まない。設置計画履行状況等調査への対応状況に関しては、「基礎要件に係る評価の指針」として別に定める。

基準4 教育課程・学習成果

● 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の公表

- ・ 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を授与する学位ごとに設定していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 上記に関わらず、専攻科については、学位を授与する課程でないので、学位授与方針を定める必要はない。ただし、「課程修了にあたって修得しているべき知識、技能、態度等の学習成果を含む課程修了認定の考え方」は明らかにしておく必要がある。
 - ※ 学位授与方針または教育課程の編成・実施方針が、学科等を単位とし、それが学位の単位と一致しない場合であっても、内容的に学位との関係が明らかであれば、提言の対象としない。
- ・ 学位授与方針に、修得すべき知識、技能、能力など当該学位にふさわしい学習成果を示していない場合は、改善課題として指摘する。
- ・ 上記に関わらず、専攻科に関し、同様の問題がある場合には、概評で指摘する。
 - ※ 学位授与方針に、卒業要件、修了要件が含まれていない場合であっても、別途示していれば問題としない（概評にも記述しない）。
 - ※ 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び学生の受け入れ方針が、内容において一貫していないと判断される場合は、基準2の概評で指摘する（問題の程度によっては、是正勧告又は改善課題を付すことも可）。
- ・ 教育課程の編成・実施方針に、教育課程の編成に関する基本的な考え方又は実施に関する基本的な考え方のうち、いずれか一方が示されていない場合は、改善課題として指摘する。
- ・ 専攻科についても教育課程の編成・実施方針の設定を求め、その際内容においては上記の通り評価する。ただし、改善が必要な問題がある場合でも、そのことは概評で指摘する。

- ・ 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても公表していない場合は、是正勧告として指摘する。
 - ・ 専攻科について上記の問題がある場合は、概評で指摘する。
- **科目区分ごとの必要修得単位数（専門職短期大学及び専門職学科）**
- ・ 修得を必要とする単位数が、短期大学設置基準第 35 条の 10 又は専門職短期大学設置基準第 26 条が科目区分に応じて定める数を満たしていない場合は、是正勧告として指摘する。
- **履修登録単位数の上限設定**
- ・ 単位の実質化を図る措置が不十分な場合は、改善課題として指摘する。
 - ※ 単位の实質化を図る措置としては、教育課程上の配慮、成績評価の厳格性の確保、授業時間外に必要な学習の促進等の取り組みのほか、学科においては、履修登録単位の上限設定が該当する。
 - ※ 上記のうち履修登録単位の上限設定は主要なものと考えられるが、その実施を一律には求めず、履修指導の実施状況、学生の実際の履修状況等を踏まえて、総合的に判断する。特に、厚生労働省関係の国家試験の受験資格を得ることが必須となっている学科等については、履修登録単位の上限設定以外の措置の状況も十分に踏まえて判断する。
 - ※ 以下の場合、これに該当する学生数が適正な範囲であるかなど、制度の運用実態に十分な注意を払う必要がある。
 - ① 短期大学設置基準第 13 条の 2 第 2 項又は専門職短期大学設置基準第 20 条第 2 項の規定に基づき、成績優秀者に対して履修登録単位数の上限を緩和又は適用外としている場合。
 - ② その他学内の規定に基づき学科長等による許可のもと履修登録単位数の上限を緩和又は適用外としている場合。
- **1 学期の授業期間と単位計算**
- ・ 授業期間が必ずしも 15 週である必要はない。ただし、授業における学生の学習時間が十分に確保されていない場合は、改善課題として指摘する。
 - ・ 単位計算が不適切である場合は、是正勧告として指摘する。
- **1 授業当たりの学生数（専門職短期大学及び専門職学科）**
- ・ 同時に授業を行う学生数が専門職短期大学設置基準第 14 条又は短期大学設置基準第 35 の 9 条に定める数を超える授業があり、かつ適切性を欠くと判断される場合は、状況に応じて是正勧告又は改善課題として指摘する。

● **卒業の要件の設定及び明示**

- ・ 卒業・専攻科修了の要件を明確にし、刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても、あらかじめ学生に明示していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 既修得単位として認定する単位数の上限が、設置基準で認められている数を超えている場合は、是正勧告として指摘する。

● **教育課程連携協議会の設置（専門職短期大学及び専門職学科）**

- ・ 教育課程連携協議会を設置していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 教育課程連携協議会を設置しているが、短期大学設置基準第35条の7第2項又は専門職短期大学設置基準第8条第2項に定める構成メンバーがそろっていない場合は、その程度に応じて是正勧告又は改善課題として指摘する。
- ・ 教育課程連携協議会を設置し、メンバーも法定通りであるが、活動の実態がない又は不十分な場合は、状況に応じて是正勧告又は改善課題として指摘する。

○ **学位授与方針に定めた学習成果の測定**

- ・ 学習成果の測定方法が決まっておらず、検討もしていない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 検討は始まっているが、まだ学習成果の測定方法は決められていない、又は、学位授与方針に示した学習成果と測定方法の関係性が不明瞭、若しくは、測定方法が多角的かつ適切な方法とは言えない場合は、改善課題として指摘する。

※ 測定方法の検討がある程度進んでおり、近い将来成果を測定できることが根拠資料から見込める場合は、提言を付さず概評でその実行を促す。

基準5 学生の受け入れ

● **学生の受け入れ方針の公表**

- ・ 学生の受け入れ方針を学科（又は専攻課程）ごとに設定していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 専攻科についても、学生の受け入れ方針の設定を求める。ただし、改善が必要な問題がある場合でも、そのことは概評で指摘する。
- ・ 学生の受け入れ方針を刊行物、ホームページ等のいずれの方法によっても公表していない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 上記に関わらず、専攻科について同様の問題がある場合は、概評で指摘する。
- ・ 学生の受け入れ方針に、求める学生像を示していない場合は、改善課題として指摘

する。

- ・ 上記に関わらず、専攻科に関し、同様の問題がある場合には、概評で指摘する。
※ 学生の受け入れ方針に、入学前の学習歴、学力水準、能力が含まれていない場合であっても、提言せずに概評で指摘する。

● 定員管理

[学科]

- ・ 入学定員充足率の5年平均又は収容定員充足率が【表1】の目安に抵触している場合は、該当する提言を付す(※1～※3)。
- ・ 短期大学士課程全体の収容定員充足率が【表1】(定員超過の場合は「左記以外の分野」の欄を適用)の目安に抵触している場合は、学科に対する提言とあわせて該当する提言を付す。ただし、定員未充足については、「是正勧告」の目安に抵触している場合のみ提言を付す。

【表1】	定員超過		定員未充足
	実験・実習を伴う分野(心理学、社会福祉学に関する分野を含む)	左記以外の分野	
改善課題	1.20 以上	1.25 以上	0.90 未満
是正勧告	1.25 以上	1.30 以上	0.80 未満

- ※1 地域性、分野の性質等において特別の事情を考慮する必要があり、目安を弾力的に運用する場合は、上記の表の目安の通り提言しないこともある。ただし、その際は、教育の質に影響を与えていないことが必ず確認できる場合とする。
- ※2 完成年度を迎えていない学科については、収容定員充足率や入学定員充足率の5年平均が是正勧告又は改善課題にあたる場合であっても、提言を付さず、概評で現状を記述するに留める。
- ※3 第2部(夜間)における収容定員充足比率、入学定員充足率ともに、0.80倍未満の場合は、改善課題として指摘する。

[専攻科]

- ・ 統一的な数値目安は設けず、経年的な推移に留意しながら、各短期大学の状況を判断して問題が認められる場合は、概評において指摘する。

基準6 教員・教員組織

● 設置基準上必要専任教員数の充足

- ・ 専任教員数又は教授数が設置基準を満たしていない場合、是正勧告として指摘する。

● ファカルティ・ディベロップメントの実施

- ・ ファカルティ・ディベロップメントが全く実施されていない場合は、是正勧告として指摘する。
- ・ 一部の学科でのみファカルティ・ディベロップメントが行われている場合は改善課題として指摘する。
- ・ 学科でのファカルティ・ディベロップメントが行われていない場合であっても、短期大学全体としてファカルティ・ディベロップメントが行われている場合には、提言としない。
- ・ 専門職短期大学でない短期大学が専門職学科を置く場合で、専門職学科固有のファカルティ・ディベロップメントを実施していない場合は、改善課題として指摘する。
- ・ 専攻科に関する授業改善に向けた取り組みがない場合は概評で指摘する。
- ・ 教育改善以外に、研究活動の活性化を図る取り組みや社会貢献等の教員に求められる諸活動についてその資質向上を図る取り組みがない場合は、改善課題として指摘する。

基準8 教育研究等環境

● 設置基準上必要な校地面積、校舎面積の充足

- ・ 設置基準上必要な校地面積、校舎面積を充足していない場合は、是正勧告として指摘する。

基準10 大学運営・財務

● スタッフ・ディベロップメントの実施

- ・ スタッフ・ディベロップメントが全く実施されていない場合は、是正勧告として指摘する。

基準 3～10 教育研究組織～大学運営・財務

- 各基準における方針の策定並びに点検・評価及び改善・向上の実施
 - ・ 方針の策定並びに点検・評価及び改善・向上の実施が行われていない場合、原則として提言を付さず概評でその実行を促す。ただし、同一基準内で何らかの問題点に関する提言（是正勧告及び改善課題）があり、かつ、その提言が方針の策定や点検・評価及び改善・向上の未実施に由来すると認められる場合は、当該提言内においてこれらの実行をあわせて求めることは可能とする。
 - ・ 方針の策定や点検・評価及び改善・向上が不十分な基準が散見される場合は、その程度に応じて基準 2「内部質保証」における提言（是正勧告又は改善課題）として指摘する。

以上